

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	販路開拓支援事業				シート番号	015-007
担当部署名	産業振興	局	商工労働	部	商業流通	課 評価責任者(課長名) 新村

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	まちの魅力向上につながる商業機能の充実	無
	2	事業開始年度	平成 11 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	商工会議所法等			
	4	関連計画	堺市産業振興アクションプラン			
5	事業実施の経緯	本市には、優れた技術力で製品の製造等を行っている中小企業が集積しているが、大手流通業者(百貨店・スーパーなど)との商談機会に恵まれない状況にあることから、市内中小企業の販路開拓のため、多様な商談機会の創出を行う。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 堺商工会議所 )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内中小企業者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市内中小企業の競争力強化と取引拡大を図るため、堺商工会議所が実施する販路開拓に資する事業を支援し、市内経済の活性化及び税源の涵養につなげる。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	大手流通業者に対して市内事業者が自社商品を売り込む「売り込み型商談会」を開催する。また、市内事業者の商品PR力の向上及び販路開拓の促進に資するセミナーを開催する。			
10	直接実施以外の主な支出先	堺商工会議所				

Ⅲ. 投入量

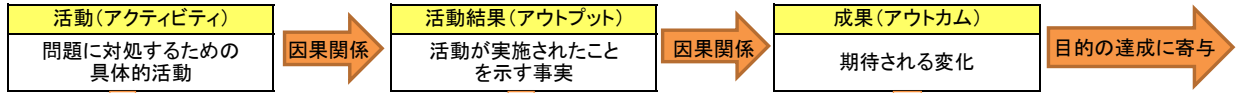
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	7,017	7,019	7,024	7,016	7,024	7,024	7,024	
	主な事業費内訳	販路開拓支援事業	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他( )		千円								
	一般財源	千円	7,017	7,019	7,024	7,016	7,024	7,024	7,024	
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	820	984	810	810	1,968	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,657	8,659	7,844	8,000	7,834	7,834	8,992	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	販路開拓支援事業	シート番号	015-007
-------	----------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



<p>[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載</p> <p>[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載</p>	<p>【達成率に基づいた評価基準】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価	達成率												
大変良い	120%以上												
良い	100%以上120%未満												
普通	80%以上100%未満												
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>堺市内の中小企業等への販路開拓支援として、大きく3つの事業を展開した。商談会事業では、逆マッチング型の商談会を2回開催したことに加えて自社商品PRコーナー等を拡充することで、より多くの企業ニーズに対応する支援を行い、2回の商談会で成約件数76件が確認できた。企業コラボレーション促進支援事業では、「堺技衆」認証企業を中心に各種講演会やPRブース出展等を積極的に行い、ブランドイメージの向上につとめた。また、セミナー事業では先進IT技術を中心に商談成約率向上やプレスリリースノウハウ等、多様なテーマを学ぶことで、販路開拓・販売促進の可能性を上げることができた。</p>						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		商談会来場企業数	社	目標値	300	300	300	150
				実績値	371	323	338	
				達成率	124%	108%	113%	
				評価	大変良い	良い	良い	
		算出方法・設定根拠など						
		大手流通業者(買手)10社×15社×1回=150社。令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み150社とした。						
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		商談会での商談件数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	750
	実績値			1,395	1,103	1,254		
	達成率			93%	74%	84%		
	評価			普通	少し悪い	普通		
	算出方法・設定根拠など							
	150社(想定来場企業数)×5件(1社あたり目標商談件数)=750件。令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み750件とした。							

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	商談会来場企業数	社	371	323	338
	②	上記①にかかる年間経費	千円	8,659	8,000	7,810
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	23,340	24,768	23,107
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	商談会での商談件数	件	1,395	1,103	1,254
	②	上記①にかかる年間経費	千円	8,659	8,000	7,810
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	6,207	7,253	6,228
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	本事業は、市内中小企業にとって普段あまり商談機会のない大手流通業者との商談や出展企業のニーズを把握することができるなどメリットが多いこと、また、アンケート調査などにより状況を把握し、事業を改善していることから、評価指標の目標を概ね達成している。また、商談会来場企業からは、81%が満足している評価を得ている。	

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	販路開拓支援事業	シート番号	015-007
-------	----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。



<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 新型コロナウイルス感染症拡大により、市内事業所等を取り巻く情勢は厳しく、社会経済活動を取り戻すためにも、堺商工会議所が実施する市内事業所の販路開拓を支援する本事業を実施する必要がある。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 商談会来場企業の8割以上が参加してよかった、9割以上が次回も参加したいと回答しており、ニーズがあり休止(延期)することは好ましくない。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 本事業は堺商工会議所が本市内の事業所を対象に行う販路開拓支援事業に対する補助事業である。その補助の目的は販路開拓を支援することにより本市産業の振興発展に寄与することとしている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会経済活動の停滞が懸念されている状況下において、縮減すべきではないと考える。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> セミナーや商談会等の補助対象事業の実施にあたっては、3密対策を取り十分に感染防止に留意したうえで実施するよう図っていく。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	理由・説明	本事業は、堺商工会議所を実施主体とした補助事業である。市内産業について熟知している堺商工会議所が主体となって事業を実施することで、効率的かつ低コストで実施している。他自治体とは、各種情報交換等を行い連携している。より地域の実情に即した支援を商工会議所を通じて行うことにより、国・府との役割分担を行っている。他の政令市も同様に商工会議所への補助制度を有しており、サービス水準は同程度と考える。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		<b>所見</b> 当該事業は景気動向に左右される性質があるものの、商談会事業は商談件数が多く、新たな取引への発展が期待できることから市内中小企業等からの評価は高い。セミナー事業では、新型コロナウイルス感染症の影響に対する対応としてオンラインでの販路開拓、販売促進の強化等を行い、次年度以降につなげる。今後も市内中小企業等のニーズを汲み取りながら事業実施を図る。			